



平成30年3月22日

利府町議会議長 櫻井 正 人 殿

教育民生常任委員長 木 村 範 雄



委員会調査中間報告書

本委員会で調査した事件について、利府町議会会議規則第43条の2第2項の規定により、別紙のとおり報告します。

教育民生常任委員会調査中間報告書

1 調査事件

- (1) ICT教育について
- (2) 学校給食費の無償化について

2 調査目的

委員会の中で、上記の2点が提言に向けての調査事件としてあげられた。

ICT (Information & Communication Technology:情報通信技術) 教育の調査について、担当課の説明と実際にタブレットを使った授業を視察した。全国的にICT教育の普及が広がっているなかで、子どもたちに効果的な教育を受けさせるためにも重要な課題である。

学校給食費の無償化については、町独自の実施よりも国の動向を見守るのが必要ではないかとの意見があった。しかし、委員会として、町の学校給食事業の現状を把握することに取り組むべきとして、担当課の説明及び給食センターの視察研修を行った。

3 調査経過

平成29年	9月15日	所管事務調査項目検討 (会期中)
	9月27日	所管事務調査項目検討
	10月24日	教育総務課所管事務調査及び調査項目検討
	11月17日	学校給食事業の調査 (ポテト館での給食試食他)
	12月 5日	所管事務調査項目検討・決定
平成30年	2月 1日	ICT教育の調査 (菅谷台小学校授業見学)
	3月14日	委員会調査中間報告書について協議 (会期中)

4 調査状況

(1) 本町のICT教育の状況

本町のタブレットを活用した授業の実施状況は、小学校が6校中4校、中学校が3校中2校で行われている。実施している中でも実施時間数にはばらつきが見られる。

また、タブレットを保有している学校は4校であり、今後の学校のさらなる取り組みが求められる。

タブレットを活用した平成29年度（4月～9月）授業の実施状況

学校名	実施時数	教科・学年	タブレット保有数（台）
利府小学校	3	社会科・3学年	0
	10	理科・6学年	
利府第二小学校	10	理科・4学年	1
	2	体育・4学年	
	90	社会科・6学年	
	5	国語・6学年	
	5	算数・6学年	
利府第三小学校	0		0
しらかし台小学校	0		0
青山小学校	5	理科・6学年	1
	5	国語・6学年	
	10	理科・3学年	
菅谷台小学校	90	全科・2学年	0
	90	全科・5学年	
小学校計	325		2
利府中学校	27	理科・3学年	8
	6	学活・1～3学年	
	5	数学・2学年	
	30	視覚支援学級	
	30	知的支援学級	
	20	技術・1～3学年	
しらかし台中学校	0		1
利府西中学校	5	保健体育・3学年	0
	8	学活・3学年	
中学校計	131		9
小中学校合計	456		11

(2) 菅谷台小学校・ICT教育の視察

2月1日、菅谷台小学校で行っているICT教育現場を視察した。

校長先生から教育内容の説明を受け、5年2組のICT機器を活用した算数の授業を実際に拝見し以下の点で、その有効性・問題点を感じた。

ア メリット

- ① 板書する時間が大幅に短縮できる事により先生がより多くの事を教えられる。(効率性の向上)
- ② 他の生徒の思考過程、作業要領がモニターを通じて共有でき、自分自身の欠点分かる。(理解力の向上に寄与)
- ③ 視覚教育は、覚えやすい。

イ 問題点

- ① タブレットが教諭個人のもので教育を行っている。(機器の不足)
- ② 教諭の素養による個人差、学校格差が生じる。
(教育者の教育手法のレベルアップ)
- ③ 機器の故障により授業に支障が生じる。

ウ 所感

今回視察したクラスは、がっちりコース(18名)及びゆったりコース(12名)の2つのコースに分け、生徒の素養に応じて授業を実施しており、良く配慮された授業と感じた。

今後、先進地視察を通じ町内の学校現場に反映できる様に提言をしていきたい。



(3) 本町の学校給食事業の状況

ア 学校給食実施状況（平成29年5月1日現在）

	校数（校）			児童生徒数（人）
	小学校	中学校	計	
キャロット館	4	2	6	2,367
ポテト館	2	1	3	1,095
合 計	6	3	9	3,462

イ 学校給食費及び給食回数

①学校給食費一食単価

区 分	一食単価
小学校	260円
中学校	310円

②年間給食回数

区 分	学 年	給食回数
小学校	1・5・6学年	173回
	2・3・4学年	176回
中学校	1・2学年	165回
	3学年	158回

・米飯 月、水、金曜日 ・パン（麺を含む）火、木曜日

ウ 学校給食センター運営状況について

①学校給食調理、配送等業務委託

平成22年4月から調理、配送等の業務を民間業者に委託しており、主な業務区分については、次のとおり。

業務内容	町		受託者
献立作成業務	○	作業計画、衛生計画等の作成業務	○
栄養指導業務	○	調理業務	○
食数管理業務	○	保存食の採取、保存	○
給食費管理業務	○	配送・回収業務	○
食材調達業務	○	洗浄・殺菌業務	○
施設設備等の保守・維持管理等業務	○	ボイラー運転業務他日常点検業務	○
検食業務	○	清掃業務	○
		使用物品等の管理	○
		報告関係書類作成業務	○
食材の検収業務	○	食材の検収業務	○
残菜・厨芥処理業務	○	残菜・厨芥処理業務	○

【学校給食調理・配送業務委託料】

区 分	平成28年度委託料実績
キャロット館	46,198,080円
ポテト館	22,818,240円
合 計	69,016,320円

②学校給食センター施設の事業費（平成28年度実績）

項 目	金 額（単位：千円）		
	キャロット館	ポテト館	計
光熱水費	15,538	9,986	25,524
保守点検などの委託料	12,117	4,585	16,702
消耗品	1,412	624	2,036
食育活動費	—	329	329
設備改修	1,915	826	2,741
合 計	30,982	16,350	47,332

エ 学校給食費について

① 1人あたりの年間給食費

区分	学年	年間給食費
小学校	1・5・6学年	260円×173回=44,980円
	2・3・4学年	260円×176回=45,760円
中学校	1・2学年	310円×165回=51,150円
	3学年	310円×158回=48,980円

② 主食・牛乳・副食の価格動向

【小学校】

(単位：円)

	H26	H27	H28	H29
給食一食単価	250	260	260	260
主食（一食あたり）	60.2	57.0	57.9	59.6
米飯（70g）	68.8	63.0	63.9	66.7
パン（基本パン50g）	47.4	47.9	48.8	49.0
牛乳	45.8	46.4	46.9	47.0
副食	144.0	156.6	155.2	153.4

【中学校】

(単位：円)

	H26	H27	H28	H29
給食一食単価	300	310	310	310
主食（一食あたり）	67.9	65.5	66.8	69.2
米飯（110g）	79.0	74.7	76.2	80.2
パン（基本パン70g）	51.3	51.8	52.7	52.8
牛乳	45.8	46.4	46.9	47.0
副食	186.3	198.1	196.3	193.8

※各年度4月1日契約時の単価に消費税を含んだ額

※主食単価はパン及び米飯の実施割合（米飯3回/週、パン2回/週）に応じた平均で算出した額。

※副食単価は、給食一食単価より、主食及び牛乳価格を減じた額。

③ 賄材料費（平成28年度実績）

区分	賄材料費	給食費調定額 （現年度分）	一般財源 （単位：円）
キャロット館	122,842,734	120,767,632	2,075,102
ポテト館	58,256,608	57,169,392	1,087,216
計	181,099,342	177,937,024	3,162,318

※一般財源は、食材検査や給食の保存食分として町で負担する費用の他、台風や学級閉鎖等で給食を中止した際の損失分が含まれる。

オ 残食について

①平成28年度残食率（単位：％）

月	小学校平均	中学校平均
4月	14.6	15.3
5月	14.7	15.8
6月	16.5	16.2
7月	17.3	18.8
8・9月	18.3	20.6
10月	16.0	20.3
11月	13.3	16.8
12月	14.6	16.8
1月	12.1	14.7
2月	13.5	17.0
3月	12.7	14.8
平均	14.9	17.0

②平成28年度地場産品使用率

品目	全体の年間使用量	地場産使用量	使用割合	H27 使用割合
たまねぎ	11,429.0 kg	2,582.0 kg	22.6%	13.0%
きゅうり	3,444.0 kg	858.0 kg	24.9%	28.4%
長ねぎ	3,523.0 kg	420.0 kg	11.9%	43.4%
じゃがいも	8,443.0 kg	1,011.0 kg	12.0%	5.8%
だいこん	6,233.0 kg	74.0 kg	1.2%	4.0%
白菜	2,778.0 kg	0.0 kg	0.0%	25.3%
梨（400g）	472.5 kg	472.5 kg	100.0%	100.0%
わかめ	451.0 kg	437.0 kg	96.9%	100.0%
米	33,538.3 kg	33,538.3 kg	100.0%	100.0%
梨シロップ漬（11kg）	187.0 kg	187.0 kg	100.0%	100.0%
とふっ恋ジャム（20g）	292.0 kg	292.0 kg	100.0%	100.0%

本町の学校給食は、小学校6校・中学校3校、併せて3,462名（平成29年5月1日現在）分を、キャロット館6校・ポテト館3校を分担し、調理・配送等の業務を民間業者に委託している。

11月17日の給食センター（ポテト館）の視察研修では、民間への業務委託を導入した後も、衛生管理・職員の健康チェック・食材調達・配食等、町としての取り組みがしっかりと実施されていることを確認した。さらに、箸の持ち方や伝統食などの食育や献立の工夫により、子どもたちに「おいしい食事」が提供されていることも評価できる点であった。

（4）総括

I C T教育については、^{みやぎ} ^{タッチ} Miyagi Touch（県教育委員会の電子黒板アプリケーション）等を活用し、子どもたちに沿った分かりやすい授業を行える反面、機器の不足や、学校により実施時間数にばらつきがある等、遅れが見られた。それには、効果の検証を行うとともに、タブレットを各校に配備する経費の問題や、タブレット等を活用できる先生の育成等について考えていく必要がある。

また、全国I C T教育首長協議会も設立されているので活動内容も研究を進めていきたい。

これからの社会情勢に対応していくためには、I C T教育を推進することは重要であると捉え、より有効な教育の実現のため、利府町におけるI C T教育のあり方の提言に向け調査研究することとした。

なお、学校給食費の無償化については、国の動向も注視する必要があり時期尚早であることから、委員会で話し合いをした結果、今回の調査は見送ることとした。

5 「課題」

- （1）I C T教育の効果の検証
- （2）タブレット導入の経費について
- （3）I C T教育のための人材育成について